

授業科目 循環器・代謝系治療学

【担当教員名】 榎 淳裕	対象学年	3	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	◎	◎
【概要・一般目標：G10】 心筋梗塞や心不全などの循環器系疾患、肥満や糖尿病、腎疾患などの代謝系の疾患の生理的变化と障害による病態変化について学んだ知識を活用して、運動療法介入の理論的背景を理解し、治療方法・治療効果について学ぶ。また、各種疾患のリハビリテーションにおける理学療法の位置付けや役割を学習し、体系的な治療方法及び治療効果について理論的考察を行う。				
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 内部障害理学療法の対象と位置づけについて、説明できる。 2. 循環器疾患および代謝疾患の生理的变化と病態について、説明できる。 3. 疾患別の理学療法を計画できる。 4. 循環器疾患および代謝疾患のADLおよびQOLについて、論述できる。 5. リスク管理について説明できる。				
回数	授業計画・学習の主題		SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	内部障害理学療法の対象と位置づけ		1	講義
2	心臓機能の障害と運動制限		2	講義
3	疾患別理学療法：虚血性心疾患		3	講義
4	疾患別理学療法：心不全		3	講義
5	疾患別理学療法：肥満・糖尿病		3	講義
6	ADLとQOL		4	講義
7	リスク管理		5	講義
8	まとめ		1-5	講義
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	内部障害系理学療法学	居村茂幸(編)	医歯薬出版	2006・4,000円＋税
	内部障害理学療法学テキスト	細田多穂(監修)	南江堂	2008・4,800円＋税
	循環器理学療法の理論と技術	増田卓, 松永篤彦(編集)	メジカルビュー社	2009・5,700円＋税
	理学療法学ゴールド・マスター・テキスト6 内部障害系理学療法学	柳澤健(編)	メジカルビュー社	2010・4,500円＋税
その他の資料				
【評価方法】 定期試験、出席、小テスト、授業態度等、総合的に評価します。		【履修上の留意点】 内科学や運動負荷学の理解が不可欠です。関連分野の復習をした上で、授業に臨んで下さい。		